



北杜市商工会ニュース

CHALLENGE

発行所 北杜市商工会 〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 2575-19 TEL 0551-32-1211 FAX 0551-32-1215

第6号

第6号 特集

- カイクマキッチン 9月開店 (2面)
- 白州・山の水農場 (3面)
- フューチャーズクラフト (3面)
- 長坂駅前カフェオープン (4面)



ブルー、レッド、イエロー、グリーンなど、カラフルなゼリーを宝石のようにちりばめた

社のかほり

アイデアが生んだスイーツ

「また行きたい！」と思う店づくり

「レアチーズケーキ」(450円税込)を販売する長坂インターチェンジ前のショッピングセンターきららシティ内のセレクトショップ「エストエスト」。

今年1月28日、「山梨」をコンセプトに、贈答品と手づくりケーキ、ハンドドリップのコーヒーが店内で飲める店としてリニューアルオープンした。

藤森千由紀店長は、「仕入れて販売するスタイルを変えて、スタッフと一緒にアイデアをカタチにしている」といい、「レアチーズケーキの上にカラフルなゼリーを盛り付けたアイデア

は、「こういう発想で」と言われました」と笑みが広がる。

パイナップルや巨峰、ザクロなど5種類の味のゼリーの食感と、レアチーズケーキのハーモニイは、意外そうだが、異なる食感とさわやかさで「新感覚スイーツ」に仕上がっている。

また、「ティラミス」(450円税込)は、ドリップしたコーヒーをスポンジに染み込ませたオリジナルで、季節商品の「イチゴケーキ」(450円税込)の3種類をメインにして、新たな客層をつかもうとしている。詳しくは ☎ 32・8122まで。

「自然」、「伝統」、「循環」を意識

企業ニーズを知り、北杜の食文化発信

北杜市商工会では、国の補助事業である全国展開支援事業の採択を受け、「北杜ならではの食文化体験」を新たな観光特産とするため、「食文化体験旅行(ガストロノミー・ツーリズム)」を企画し、北杜らしい「をテーマ

マに、7月から地域事業者の人材育成としてプロジェクトマネジメントの専門家を招いたツアー案をまとめました。

モニターツアーの実施にむけた研修では、参画事業者を商品開発のリーダーに任命して、地

域資源の調査と市場分析を行いながら、3つのツアー(水・土・山)とメニューを開発。

研修プログラムでは、食にまつわる「自然」、「伝統」、「循環」を学べる内容とし、ツアー参加者に「どのような体験ができ、何を求められるのか?」まで掘り下げてツアーを検討することに。その結果、モノ・コトの資源だけでなく、担い手の想いや繋がりを感知される体験を企画することになりました。



10月26日(金)、27日(土)に実施したモニターツアーで



は、都内の大手企業、旅行代理店や市内の観光関係者23名が参加。3つのコースに分かれました。

1日目は、「自然・伝統・循環」を意識した取り組みや考え方を地域とのつながりについて、体験を通じて学び、また、ツアーテーマにあわせて考案したメニューの提供によって、参加

者と地域事業者と一緒にテーブルを囲んで、これから何に取り組みすべきかについて話し合う機会になりました。

2日目は、旅の振り返りと継続的な実施に向けたアイデアを出すワークショップを行い、前半は他のツアー参加者同士が班になって、それぞれの体験で得た新たな気づき・学びを共有。後半は専門家も交えて、その改善策をそれぞれの立場でどう取り組むのか、ツアーテーマごとに次年度に向けた旅行商品案を

発表しました。

ツアーに参加したメンバーからは、北杜市の食文化は自然、伝統、循環などと結びつけ企業研修として価値のある取組みが多いと好評価で、ツアー後には、参加者から再訪依頼や

問い合わせが届きました。

そのなかには、省庁や国際機関、団体の担当者も連れていきたいとの声や、「北杜市の環境の良さに驚いた」、「農業生産等の担い手から得られる情報にとっても価値があった」、「純粋に食のレベルの高さに驚いた」、「神社仏閣にとどまらず、自然界にも歴史があり、それが興味深かった」などでした。

国際連合では、SDGs(持続可能な開発目標)を掲げ、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を期限とする17の国際目標を設定しています。国内でもその目標達成のために一部の関係者だけでなく、自治体、企業、地域で取り組みが増えており、今回の北杜市の食文化について、自然、伝統、循環などと結びつけ企業研修の場としての活用も含め、より充実した企業ニーズの取組みができるかと期待でき、今後も組織づくりを参画事業者と一緒に検討していきます。

What's 商工会?



商工会は、企業や経営者の皆様が明日の経営を考えたとき、そのバックアップをする組織です。専門のスタッフやその道のエキスパートを揃え、経営に関するあらゆる相談に応じ、きめ細かく支援します。

また、企業活動の地盤である地域全体の活性化に向けても、行政とともに幅広い事業を行っています。

商工会は法律(商工会法)に基づいて、市町村部に設立され、全国1,667商工会に約85万事業者等が加入しており、業種に関わりなくお互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。

入会希望・お問い合わせは… TEL.0551-32-1211

会員向け

企業力の向上や新たな魅力の創出を支援

会員企業が単独または、会員企業同士が共同して取り組む商品開発や販路開拓、地域の新たな魅力の創出などに取り組む事業に対して助成を行います。

■内容 1案件につき、30万円以内とし、助成対象経費の10分の9以内を助成します。(助成額は、予算額の範囲内)

会員向け

新たな販路開拓や取引拡大をお手伝い

県内外の物産展、展示会、アンテナショップ、道の駅、通販サイト等への出展のご案内やイベント情報等を提供し新たな顧客づくりをお手伝いします。

また、取引拡大のためのビジネスモール、マッチングサイトもご利用ください。

※展示会等への出店には、出展料に対して2/3以内、1企業10万円を上限に助成します。

創業を考えているあなたに

少人数制の創業支援制度「創業サークル」

北杜市商工会では、創業支援ネットワーク（市・商工会・金融機関・支援機関）による創業支援事業を行っています。

本事業は、北杜市内にてこれから創業する方を対象に、創業に関するノウハウを一から学ぶため、少人数制によるサークルを作り、経営支援の専門家の指導・助言による、よりマンツーマンに近いきめ細かい体制により、創業者の夢の実現を応援していきます。



創業サークルでは、国が定める4つの知識「経営」、「財務」、「人財育成」、「販路開拓」を習得するため、15時間（1日3時間×5日間）のカリキュラムを設定し、創業者の事業計画づくりにつなげます。完全履修をめざし、講義日程等はサークルメンバーで調整することを可能とし、受講者ニーズに合わせた運営が特徴。受講者からは高い満足度評価を得ています。

創業サークルのメリット

- ①少人数制ならではのきめ細かい指導・助言
- ②受講日程はサークルメンバーで調整可能
- ③「北杜市創業促進支援助成金制度」の申請が可能
- ④サークルメンバーとの交流

事業計画のポイント

- ①事業の絞り込み
実現したいこと、自分ができること、社会（市場）が求めていることの3点が重なる事業、分野の選択
- ②事業コンセプトの明確化
誰に（誰に提供するのか）、何を（提供する商品・サービスは何か、特徴は何か）、どのように（どんな方法で実現するか）売るのがかを明確化
- ③財務計画
必要な資金（何にいくら必要か）、調達方法（どこから調達）、利益計画（利益はどれくらい見込めるか）等の資金繰りを計画
- ④創業までのスケジュール
何をいつまでにやるのかを書き出し確認、進捗管理を行う

各種届出手続きをはじめ、創業時の経営に対するお悩み事は商工会がサポートします。

「開業後に設置できそうな太陽光システムなどは、実際の営業を始めてから、売上げを見て導入することにしましょう」と初期投資に必要なものとオープン後に設置するものの差別化を図った。現在計画中の店舗は、広めのフロアに15席を設ける予定で、妻の由美さんと2人で切り盛りできるレイアウトにし、ランチタイムはパスタとサラダ、ドリンクのセットメニューを中心に、季節感を感じられるものを検討。また、夜はイタリア料理を意識した一品をイメージしている。季節感を大切に、野菜類は地元生産者と連携したいと話し、「地元の生産者とのつながりがまだ薄いので、食材のことなどで相談がしたい」と地域の野菜生産者との交流を希望する。また、料理の下ごしらえなどでは、化学調味料は極力使わず、鶏ガラスープやデミグラスソースなど、手づくりの自然の味を大切にしたいとい、地元の野菜と手づくりの味の店として若者のハートを掴みたいと話す。店舗の建設は、3月着工予定で、地元の木村工務店に依頼。完成は7月の予定で、オープン準備を進めて、9月上旬から本格営業をめざすという店内は、「古木を店舗に取り入れ、アクセントにしたい」と新たなスタートに向け、夢を語っている。野菜生産者で、交流希望の方は、☎090・8682・1177（安田）まで。



都内で電気通信システムのエンジニアとして働いていた安田貞和さん(48・写真は「結婚して10年くらいしたら、田舎で暮らそう」を実現するため、今年9月上旬に「カイコマキッチン」というイタリアンレストランを白州町下教来石にオープンする。

2009年頃から八ヶ岳周りに移住してからは、市内のレストランで働き始めた。約2年が経過したところ「経験年数は少ないものの、職人は一生勉強することになるから」と独立を決意。創業にあたっては、「商工会のアドバ

年には白州町内に別荘を建築。別荘で余暇を楽しむことが増えたことで、移住計画が本格化し、「将来的に独立するには、手に職を持つこと」と、フランス・イタリア料理の専門コースで学ぶ。白州町に移住してからは、市内のレストランで働き始めた。約2年が経過したところ「経験年数は少ないものの、職人は一生勉強することになるから」と独立を決意。創業にあたっては、「商工会のアドバ

「店の特徴や店舗のイメージなど、私が描いた内容を反映してくれました」といい、「日々の経費については、私が想像していた内容と違って、参考になりました。講習を受けて良かったと思っ

「開業後に設置できそうな太陽光システムなどは、実際の営業を始めてから、売上げを見て導入することにしましょう」と初期投資に必要なものとオープン後に設置するものの差別化を図った。現在計画中の店舗は、広めのフロアに15席を設ける予定で、妻の由美さんと2人で切り盛りできるレイアウトにし、ランチタイムはパスタとサラダ、ドリンクのセットメニューを中心に、季節感を感じられるものを検討。また、夜はイタリア料理を意識した一品をイメージしている。



白州でレストラン経営

カイコマキッチン 9月オープン予定

手づくりの自然の味と地元野菜をメインに

商工会にご相談ください。

【経営なんでも相談室】

経営・取引などでお困りの時

取引等に関する法律問題や事業承継、販路開拓、売掛金の回収等の法的トラブルなど法律・経営に関することや知的財産に関することなどの専門家の無料アドバイスを定期的に行っています。

【金融相談・斡旋】

事業資金でお困りのときは…

経営を安定、向上させることができるよう、金融や信用保証に関する相談・斡旋などを行っています。また、定期的に日本政策金融公庫の相談会を行っています。

【経営指導・支援】

経営のこと、誰かに相談したい

新規創業、販路の開拓、新商品や新サービスの開発、新たな技術の導入、事業の承継など経営に関する悩みごとなど専門的なアドバイスや情報提供等による積極的な支援をしています。

【労災・雇用保険】

従業員が安心して働ける職場環境はできていますか？

福利厚生を整えて安定した企業環境をつくるための労災や雇用保険などの面倒な事務処理を事業主に代わり事務の委託を受けています。是非、お気軽にご活用ください。

【税務・経理指導】

税や経理ってすごくめんどろ…

経営する上で欠かせないのが経理処理。日々の帳簿の付け方から決算、申告のしかたまで丁寧にアドバイスをいたします。また、決算、申告期には税理士が専門の相談員として無料の税務相談に応じています。



白州 山の水農場

自然の恵みをたっぷり

キノコの旬を知り、通年で生産

20年ほど前、知人の紹介で白州町に菜園をつくり、月に1、2回ほど通ってキャンプを楽しんでいたことがきっかけになり、キノコ栽培を手伝うようになったという水谷多呂・みえこ夫妻は、2008年、白州町で「白州・山の水農場合同会社」を設立。昨年、ものづくり補助金と小規模事業者持続化補助金を活用して事業の高度化を図った。

「自分で種をまき、育てて収穫して食べた味に感動しました」と白州町との出会いを語る水谷多呂さんは「北杜市商工会に相談して、何となく描いていたイメージを形にすることができた。キノコ生産者として10種類以上をつくらせているが、キノコにもおいしい旬の季節があるし、味も違

う」と話す。また、キノコ栽培だけで食べているほどの収量は難しいと乾燥キノコを生産。「ハイブリッドにして、商品が途切れないようにしています」とみえこさんは話す。

白州町への移住につながったのは、大学卒業後に経験したニュージージーランドの旅。自由な移動で、オーガニック野菜を生産する農家を訪ねたり、生産者と一緒に畑に出ることを経験。白州町で菜園を

はじめてからは、寒暖差や季節感、収穫した作物の味、そして「1番は水が良かったこと」が決めた手になった。さらに、2人が農業の師匠と呼ぶ地元の人との存在が大きく、「失敗しても」「成功しても」というのが、次の経験になつていく」と自然と向き合う農業のアドバースも大きかったという。

「この恵みで感動するよいうな商品がほしい。この場所を感じてもらい、この場所のレストランで使ってもらいたいという思いがあり、大量生産ではなく、空気や水を感じ、地域性に触れることのできる商品を提供するみえこさん。「この地域は、自然を大切に、挑戦しやすい土台があると思います」と少しづつ広がるネットワー

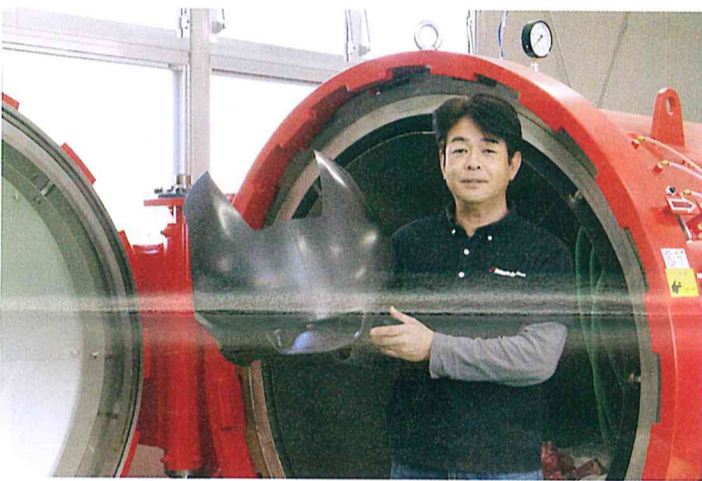
クで、白州町でしか買うことができないキノコ生産に力を注いでいる。問い合わせは ☎080・3515・6561 (水谷) まで。



「軽く強い」という特性がある「CFRP (炭素繊維強化プラスチック)」という通称「カーボン」を県下で唯一手掛ける株式会社フューチャーズクラフト(本社・高根町東井出)は、取り引きの約5割が自動車関連。そのほか、ロボットや医療、宇宙、スポーツ関連など、多品種小ロットで取引先の要望に応えなが

自動車から宇宙関連まで 鉄に代わるカーボン素材

フューチャーズクラフト



ら、大手企業と取り引きを行っている。赤沼直人代表は、オートバレーの存在を知った時にカーボンの存在を知り、強度が高いのに軽く、いろんな形に成形しやすいという特性から、自らもカーボンを使ったバイクのフロントカウルづくりなどを経験。

その後、一般企業に就職したが、カーボンについては研究を続けていたこともあり、東京ビッグサイトやパシフィコ横浜で開催される製造業主体の展示会に参加するため、北杜市商工会の出展補助金を活用して、年に2、3回ブースを設ける。工業系技術者との交流を深めながら全国展開へと弾みをつけている。

「展示会で、オンラインでの企業が多いです。私も技術特許の申請をしています。」



フューチャーズクラフトのHP http://www.fc-carbon.com

「軽く強い」という特性がある「CFRP (炭素繊維強化プラスチック)」という通称「カーボン」を県下で唯一手掛ける株式会社フューチャーズクラフト(本社・高根町東井出)は、取り引きの約5割が自動車関連。そのほか、ロボットや医療、宇宙、スポーツ関連など、多品種小ロットで取引先の要望に応えなが

「軽く強い」という特性がある「CFRP (炭素繊維強化プラスチック)」という通称「カーボン」を県下で唯一手掛ける株式会社フューチャーズクラフト(本社・高根町東井出)は、取り引きの約5割が自動車関連。そのほか、ロボットや医療、宇宙、スポーツ関連など、多品種小ロットで取引先の要望に応えなが

商工会新規加盟会員名簿

平成31年3月1日現在 (掲載希望者のみ掲載)

Table with 7 columns: No., 事業所名, 代表者氏名, 所在地, 電話番号, 業種名, セールスポイント. It lists 18 new members of the Chamber of Commerce and Industry.

駅前には寛ぎの空間

交流の場「ベンチ」オープン

今年1月1日、JR長坂駅前にはオープンした駅前カフェ「BENCH(以下:ベンチ)」はあったものの、実際の経営

や申請書類などで、不安な部分が多く、北杜市商工会に相談。不安に思っていた部分が取り除かれ、「安心してスタートを切ることができました」と話す。



窓を大きくし、店の外側にもベンチを設置したと話す中村夫妻

周子代表の祖父が長坂町に住んでいたこともあり、子供の頃から長坂町には縁があったが、首都圏暮らしからの転向には、「人生を変えるほどの決断で、時間が必要だった」と笑い、「森の中のカフェ」をイメージしながら3年前に移住した。

移住後、JR長坂駅を利用している友人が、缶ビールを用などの各種指標では好調を示し、回復の兆しといわれていますが、中小規模事業者の景気感はいまだに回復を実感できていないという状況にあります。

少子高齢化社会によって事業の継続が難しくなったり、労働者不足、人口減少に伴う市場の縮小など、厳しい環境が続くと思われる。だが、中部横断自動車道やリニア中央新幹線などの大規模インフラが整備されることで、将来的には、交通アクセスの劇的な改善によって交流人口の増加が見込め、地域経済や産業の発展が期待できるものと考えられています。



しょうが焼き定食

1本買って、電車が到着するまでの時間を潰していることを知り、「駅前に電車が来るまでの間、過ごせる場所がないよね」という話から、「駅前カフェ」の必要性を感じ、駅周辺での物件探しに変更。「店名はベンチに決めていた」と約1年前の出来事を話す。

改装では、道路側の窓を大きくし、店の外側と内側にベンチを設置して、人が立ち寄りやすい空間を演出。季節に合わせたベンチの利用方法も検討する。

店内中央の大型テーブルを囲んで椅子が10脚置かれ、カウンタは4人掛け。ベンチのあるテラス空間には、夫の大輔さんが好きなニュージランドの雑誌を置いた。

ランチタイムは、しょうが焼き定食と太麺を使った昔ながらのナポリタンの2種類が定番。コーヒーは注文を受けてからのハンドドリップで、深入りの豆が特徴。

相談窓口を充実

山梨県民信用組合
長坂・大泉エリア長坂支店

横内 稔 支店長

今年2月に山梨県民信用組合長坂支店に着任した横内稔支店長(50)の担当するエリアは、長坂町と大泉町の2町。サッカー観戦が趣味で、「全力で戦っている姿に感動します」と笑みがこぼれる。



Q 地方創生に向けた取り組みや事業継承について

金利優遇を案内しています。また、当組合では、本部の総合相談センターと各支店でスクラムを組み、販路拡大や経営の見直し、事業継承などの相談業務を積

極的に行っています。会員様向けの「経営者クラブ」で、年6回セミナーを開いているので、お気軽に相談してください。

Q 利用していただきたい商品はありますか

A 「融資・経営相談窓口」を開いており、午後3時以降でも、ご予約いただければ相談に応じています。また、創業時に必要な資金対応として「エール」という商品を用意しております。相談内容によりましては、各種商品を提案します。

Q 県内の景気動向と将来予測は

A 県内の経済状況は、生産をはじめ、個人消費、雇

ごめんなって

新時代にチャレンジ

創業支援を積極的に応援

北杜市商工会 興水 順彦 会長



いう。

また、地元出身の大学生や高校生に向けたセミナーで、「親の仕事を再認識してもらい、『何ができるのか』という可能性を探るミーティングのような相談を実施して、マッチングができれば、事業継承もスムーズに進められるのではないか」と期待を寄せる。

今年10月からは消費税10%がスタートする。小売店や飲食店など様々な事業に大きな影響が考えられることから、「軽減税率に関する勉強会を積極的に開いていく」といい、東京オリピック・パラリンピックによる日本経済の好景気に期待を寄せる。

「平成から新しい元号に変わる年、北杜市らしいことにチャレンジしたい」と話す北杜市商工会の興水順彦会長(69)。

北杜市商工会の会員数は約1750事業所で、近年、創業に関する相談件数が増加しているという。

2019年度に取り組みたいと考えているのは、「後継者問題」。事業者の継続支援を応援するもので、今ある事業を子供や事業意欲が高い若手に継承して事業の継続を図るだけでは、事業拡大の夢や魅力に欠けることから、「新しい発想を取り入れ、業態を変えることも必要では」と、大手フィルムメーカーが化粧品事業に乗り出した例を話す。

「事業を継がせるためのセミナー(仮称)」のようなものを開き、事業継承後の成長戦略を図り、先代の知恵と経験に、若手のアイデアを融合させた取り組みとしてチャレンジしたいと

「現役の時のような給与支払は難しいが、利益を上げる経営ができれば、活気につながる」といい、「市内には様々な能力や技術を持った人が多いし、高齢者が組織した活動が、子供たちとの間に立てるような組み合わせができれば、地域活性が図れる」と話す。

「マイナスイメージになりがちな『超高齢社会』を逆手に取った発想で、高齢者による農業法人や市内の交通問題を解決するために高

年齢に活躍してもらい、「働く意欲によって健康維持にもつながり、これからの社会にとって必要ではないか」という。

一方、北杜市商工会が主催する「北杜シンポジウム」の開催を計画中で、夏頃から実行委員会を開いて、「市民や事業者の」興味が集まるような、関心の高い内容でシンポジウムを開催したい」と話す。

市内の商工業、観光、農業などを取り巻く環境は、大きな転換点に立っており、北杜市だからできる、北杜市が発信拠点になる、というメリットを最大限に活かした新時代の旗振り役として、商工会は、チャレンジする人々を積極的に応援する姿勢でいる。

市内の商工業、観光、農業などを取り巻く環境は、大きな転換点に立っており、北杜市だからできる、北杜市が発信拠点になる、というメリットを最大限に活かした新時代の旗振り役として、商工会は、チャレンジする人々を積極的に応援する姿勢でいる。

市内の商工業、観光、農業などを取り巻く環境は、大きな転換点に立っており、北杜市だからできる、北杜市が発信拠点になる、というメリットを最大限に活かした新時代の旗振り役として、商工会は、チャレンジする人々を積極的に応援する姿勢でいる。